

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	骨肉腫における予後予測ノモグラムの開発
	研究目的	骨肉腫は骨原発性悪性腫瘍（骨の肉腫）の中では最も発生頻度が高いものの、稀少がんに含まれ詳細な予後予測方法は完備されているとはいえない。いくつかの因子に統計学的な重みを与え、二次元の計算図表を用いて求めたい数値を導く出すモデルがノモグラムである。今回、より実臨床に有用な骨肉腫の予後予測ノモグラムを開発することを本研究の目的とする。対象者個別の予後予測が可能になることが期待され、それに基づく望ましい治療やフォローアップ計画を立てることは、臨床的にきわめて重要であると考えられる。
	研究期間	2014年12月25日から2016年12月31日
利用する試料・情報の項目 （チェック[X]が入った項目を利用します）		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物（尿・便） <input type="checkbox"/> その他（記載して下さい） <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	研究責任者	比留間 徹
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	骨軟部腫瘍外科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	国立がん研究センター骨軟部腫瘍科・リハビリテーション科 川井 章 千葉県立がんセンター整形外科 米本 司 東京大学整形外科 河野 博隆 慶応義塾大学整形外科 森岡 秀夫